



青少年健全育成町民会議

6月11日(日)、ゆめりあホールで青少年健全育成のつどいが開催され、246人の参加がありました。

「ゆめ、希望、願い」をテーマに小中学生による優秀作文の発表がありました。続いて「子どもの夢と希望を叶えるために」と題して、株式会社コンサドーレ代表取締役社長CEO野々村芳和氏の講演がありました。

作文発表の概要・結果

作文発表では、8人の児童生徒が「夢や希望の実現に向けて努力していく姿」「感謝の言葉と友達の大切さ」「助け合いながら、人と人との結びつきを強めていく町づくり」「東日本大震災を忘れず今後の生活に生かしていく決意」など、自分の思いを力強く発表しました。作文発表の結果(敬称略)は次の通りです。

【最優秀賞】

長瀬 美優(新小6年)
岡崎こは(新中3年)

【優秀賞】

清水 花菜(新小5年)
片岡 凜(新小5年)
坂本 亜純(新小6年)
和田 涉聖(新小6年)

小松 朔也(新中1年)
加藤 緒美(新中2年)
村上ひより(新中3年)



清水 花菜
十津川小学校5年

野々村芳和氏講演の概要

○コンサドーレの歴史

1996年にコンサドーレが誕生しました。1999年には岡田氏を監督に招き、2000年には私とエメルソンという素晴らしい選手が入団しました。2010年にはゴン中山が入団し、チームに良い影響を与え、2013年には私がクラブの社長に招かれ、その後、小野、稲本を獲得。両選手の加入により、若手選手はどのようなプレーをしなければならぬかを学ぶ機会ができました。

○勝つための要因とクラブのありかた

サッカーは成績により昇格、降格する厳しいスポーツで、日々、競争が続きます。上位にいるためには、選手獲得の資金

が必要ですが、下位のクラブは資金が少ないのが現状です。コンサドーレは、資金35億円を目指しています。そうすると、J1上位に位置し、降格の心配も少なくなると思います。

ただ、資金が潤沢であっても、勝てないクラブもあります。どのようにして勝ちにいこうか、それは、クラブが一つにまとまることです。そのためには、クラブの現状などをスポンサー、サポーターが共有することです。そうすることにより、応援のスタンスが変わり、一緒に目標を達成しようとする一体感が生まれてきます。これはとても大切なことです。

さらに、サッカーに勝ち負け以外の価値をつくるのが大切です。サッカーは世界ナンバーワンのスポーツです。そのサッカーを使って、北海道に貢献できる価値を見出せるものがたくさんあることをしっかり伝えることが必要です。



○夢をかなえるために
私自身のこれまでの経験から一生懸命やっているチャンスは来ます。今できることをやり続けることです。

また、今の時代、変化があった時にチャンスをつかめる準備をしておくことも必要です。

○サッカー選手になるためには
サッカー選手といえば、フリエーティブなプレーができる人を想像すると思いますが、そのような人ばかりいるわけではありません。泥臭く相手のボールを追い自分のボールにしてい、そのような人もいます。要するに、子供の得意な部分を伸ばし、型にはめないことです。

○これからのコンサドーレ
大きなクラブに勝っていくなど「コンサドーレすごいな」と言われるようにしていきたいです。

また、コンサドーレでサッカーをしたいという東南アジアの子どもが増えてきており、これは北海道にとって大きなチャンスです。これからも北海道でつくる北海道のクラブになっていけるようにしていきます。

学ぼう明日へ！サポート通信44

学力向上と生活習慣

【学力向上】

学校では、学力の基礎・基本を子どもたちに確実に身に付けさせることも、次のことを推進しています。

○思考力・判断力・表現力を高める指導を行い、子どもたちの学力を向上させます。

・考えや道筋をしっかりと押さえて表現させる指導を進め、自分の考えを自分の言葉でしっかりと説明できる力や相手に伝える力を育てます。

・物事を表面的に捉えるのではなく、多面的に考える力を育てます。

・学んだことや身に付けたことを生かす活動を行い、活用力・応用力を育てます。

○よりよい学び方や学習習慣が身に付くよう指導します。

・文章を読み取る力を確実に身に付けさせ、ノートや作文指導などを通じて書く力を育てます。

・相手を意識して「話す」「聞く」力を育てます。

子どもたちの確かな学力の育成に向けて、教員の指導力の向上、小中学校の連携を進めます。

・学校から積極的に情報を発信し、家庭や地域の理解や協力を得て教育活動を一層充実させます。

【生活習慣】

家庭・地域では子どもたちによりよい生活習慣が身に付くようにご指導・ご協力をお願いします。

○生活を直しましょう。
・家庭での学習やテレビ、ゲームの時間は適切ですか？
・お手伝いをしていますか？
・整理整頓ができていますか？
・忘れ物をしないことや宿題の提出期限が守られていますか？

○読書を楽しみましょう。
読書は語彙力や読解力を高めま

す。家族みんなで読書する時間を作りましょう。

○家族でたくさん話しましょう。
・学校での出来事、最近の話題を家族でたくさん話しましょう。
・学習の足跡が書かれているか、学習ノートを確認してみましよう。

・地域や社会での活動を通して、夢や目的意識、職業観を育てましよう。

どのようにして子どもたちに望ましい生活習慣を身に付けさせるかという方法を考えてみたいと思います。勉強はよくできるが、生活習慣がだらしないのなら社会に出るから大変なことになる。まず、勉強が得意でない子どもには三つの共通点があります。

一つ目は「心が勉強に対して否定的」ということです。勉強に対して、否定語や消極語ばかり口から出てきます。

二つ目は「生活習慣に問題あり」ということです。生活習慣の基本は【挨拶すること、時間を守ること、整理整頓すること】です。

三つ目は「しっかりと考える習慣が不足している」というものです。このような子どもは、否定語をやめさせ、生活習慣を整えるだけで8割の確率で学力が上昇していくとの研究結果があります。

では、実際にはどのようにして良い生活習慣を身に付けさせればよいのでしょうか。
それは、日頃から最低限守るべき約束事を明文化して、手帳などにメモし、定期的にチェックする

という方法です。メモすることを習慣化させていけば、どのような状況にあっても、子どもは習慣化された思考パターンで、行動するようになっていきます。

家庭内でこれだけは守る必要があるという「約束事」を明文化します。多くの家庭では、日々生活で大切なことを指導されていると思いますが、「約束事」を目に見える形にしていることは少ないのではないのでしょうか。

明文化(可視化)すると効果が大きく変わります。「約束事」を三つから五つくらい作り、定期的に行ってきたかどうかをチェックする。ただ、チェックだけでは弱いので、ポイント制を入れて達成感を味わうことができると効果はさらに大きくなると思います。

簡単なことですが、継続できるかが鍵です。達成期間が徐々に延びていくよう工夫することも大切

です。
ご家庭の方針に沿いながら、活用できそうな部分を参考にさせていただき、これからは学校、家庭、地域が一体となった取り組みの中で、立派な新十津川の子どもたちを育てていきます。

新十津川小学校長

佐藤 善彰